

事務事業チェックシート

事務事業No 405 事業名 安全・安心農業推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	5	農業振興のためのネットワーク強化

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	農林水産課	太田 克弘(435-1049)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		農林水産業費	
	項		農業費	
	目		農業振興費	
	大事業		農業振興事業	
事項		安心・安全農業推進事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	安全・安心の農産物づくりを推進するとともに、農業体験機会の増加に関する支援を行う	農業振興を図るため、環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。 ・農業振興補助金 ・特定農産物振興補助金 ・農業共済加入促進事業補助金 (果樹共済加入促進)	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。 ・農業振興補助金 ・特定農産物振興補助金 ・農業共済加入促進事業補助金 (果樹共済加入促進)	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。 ・農業振興補助金 ・特定農産物振興補助金 ・農業共済加入促進事業補助金 (果樹共済加入促進)	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。	

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,729	2,650	2,693	2,739	2,184	1,347	2,184	0	2,184	0
伸び率 (%)	-	-	▲1.3%	3.4%	▲18.9%	▲50.8%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費										
正規職員	1,951	2,330	1,951	3,141	1,951	4,244	1,951			
正規職員以外	70	70	70	71	70	0	70			
小計	2,021	2,400	2,021	3,212	2,021	4,244	2,021	0	0	0
国庫支出金										
県支出金		60								
市債										
その他										
一般財源 (税等)	2,729	2,590	2,693	2,739	2,184	1,347	2,184	0	2,184	0
所要人数 (人)										
正規職員	0.26	0.31	0.26	0.42	0.26	0.53	0.26			
正規職員以外	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0	0.05			
主な予算内訳	農業振興補助金、農業共済加入促進事業補助金									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
成果指標	学童農園等実施箇所数 (小学校・保育所・幼稚園他)	箇所	目標値	20	20	40	40
			実績値	47	40	46	
			達成度 (%)	235.0%	200.0%	115.0%	0.0%
			目標値				
			実績値				
			達成度 (%)				

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	消費者の関心の高い安全・安心の農産物の栽培普及の促進（和歌山県特別栽培農産物認証）や子供たちに農業体験（稲作、サツマイモ等の野菜栽培）等による農業の役割や食料生産の大切さを、料理教室を通じて食の大切さを理解していくためには重要です。
見直し・改善内容	